

# ご坊さんだより

2024年  
5月

2024年3月17日~23日

## 春季彼岸会法要 《法話》

期間中の3日間、  
ご法話をいただきました。  
編集担当の受け取りを以下のとおり概要としてまとめました。

### 3月17日(日) 「歸命の一念」

講師 渡邊 誉氏 (多度町 西願寺 住職)

親鸞聖人は人間の世界(此岸)の道理ではなく、教えをいただいているからの世界(浄土)を説いている。そのため、自分の道理で分かつとすると私たちでは、「阿弥陀様の本願を信じ、念仏申せば仏になる」という構造自体が分かつても、そもそも受け入れることが難しい。しかし、そんな私たちにも常に、教えを聞いてほしいという願いが彼岸(浄土)から呼びかけられている。そして、私たちが自分にとって都合の悪い人

や状況に出遇うこともまた、「自分の道理でしか生きられない私」の事実を気づかせようとする「眞実信心のはたらき」といえる。中々頭が下がらない私が、頭をあげたまま、聞こうが聞かまいが聞こえてくる、見ようが見まいが見えてくる願いにすでに出遇っていること、頭が下がった時にはもう頭が下がらないような教えにすでに出遇っていることを生活の中で展開し、共有していくことが「歸命の一念」をいただくということである。

### 3月20日(水) 「根拠にふれる言葉」

講師 三枝 明史氏 (多度町 空念寺 住職)

「生きる」とは変わること、変わっていく世界に身を置いておくことといえる。亡き方を偲び、不変の事実に触れることで、諸行無常で変わり続ける自分、「彼岸」に支えられている自分を確認することができる。また、そのことに出遇う手立てのひとつに言葉があり、仮の言葉を並べ尽くして先代は伝えようとした。最近のNHKドラマになった辞書編纂の物語『舟を編む』(三浦しをん・著)には、「言葉がなかったら茫漠

とした大海原にたたずむ他ない。言葉は誰かに何かを伝えたくて必要に迫られて生まれてきた。寂しさに打ちひしがれそうな旅の日にも言葉の海を渡る安心して乗れるような心強い舟を編む。」というメッセージがあり、「煩惱に満ち溢れた私たちの娑婆世界(難度海)を渡る船が念仏である」と受けとめられた親鸞聖人のお言葉や、安田理深先生が「南無阿弥陀仏」は根本にふれる言葉(根本言)だと表現されたことなど、浄土真宗の教えと重なりました。

### 3月23日(土) 「念仏・信心歓喜・浄土」

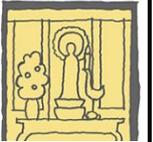
講師 池田 真氏 (愛西市 萬瑞寺 住職)

現在「私が生きる」ということだけで盛り上がる行事は盛んですが、仏事はどうか。仏事は「死で終わらない私のいのち全てを含めて案ぜられている救いの教え」をいただく場です。歎異抄の第九条では「仏様のお名前を称えることによって私自身が心からの喜びをいただいで、浄土に生まれていく」ことが書かれている。仏様が私を救うために極楽浄土という形をもって表し、与えてくれたのです。本当に困ったと

きに「大丈夫ですか」と形にして表してくる人がいたら嬉しいですね。それと同じです。その形をいただき、大事にしていく。それが浄土真宗でしかできないお勤めです。常に変わらない仏の願いに遇うことを通じて、常に変わり続ける私の身の事実を喜べた時、阿弥陀仏は必ず迎えに来る。浄土に向かうのです。2500年前も今もそれは変わりません。娑婆に生まれたということはそのことを学びに来たのです。いよいよ頼もしいじゃないですか。



# お内仏報恩講



さる3月22日(金)、桑名別院庫裡のお内仏にて「お内仏報恩講」をお勤めいたしました。

「お内仏報恩講」は毎年、12月下旬の桑名別院報恩講をお迎えした後に予定し、「寺町通り商店街」の皆さまや三重教務所職員に集まっていたいております。しばらくの間、新型コロナウイルスの影響により内勤めとなっておりますが、今年4年ぶりに皆さんでお集まりいただいたのお勤めとなりました。



「お内仏報恩講」では勤行のあと、新入の職員が中心となって感話をし、その後はお斎(懇親会)にて、共に協力し合って発展をしてきた桑名別院と寺町通り商店街の歴史について、また今後の展望など、お話をさせていただきました。

この度、桑名別院のお内仏の存在が「お内仏報恩講」という有縁の方々の集まるきっかけとなりましたように、日々の生活を見渡してみた時、物には人をひきつける魅力や思い出が共に存在している気がいたします。寺町商店街や三八朝市にて購入した食材やお料理、衣服や食器、仏具やお花が、持ち帰った人の、そのまた有縁の人とを結びきっかけとして、常に共有は続いている気がいたします。桑名別院でも寺町通り商店街で購入した食材や物を使用しています。別院と商店街の繋がりの深さを感じる報恩講となりました。

## 別院花まつり



さる4月8日(月)、別院山門に花御堂を設置し「花まつり」を開催いたしました。今年はこちらと桜の満開の時期で、花びらがひらひらと舞う中での「花まつり」となりました。

勤行後、輪番よりお話があり、お釈迦様の生涯についてご紹介いたしました。また、その内容や花まつりについての説明を、手作りフリップ風に作成して展示いたしました。

また、例年お馴染みとなりました婦人会による甘茶



のお振舞いも一緒にお楽しみいただきました。

なお、本年はお釈迦様のお生まれになったネパール・インドの本場の味を皆さままで楽しんでいただけるよう、「アジアンキッチンカトマンス(桑名店)」さんにも本場インドカリーの特別出店をいただき、お弁当は完売となりました。

開催日となった月曜日は普段商店街がお休みとなる曜日であり、また天気が不安であったこともあり、昨年よりは参加者は少なかったものの、参拝いただきました約200人の皆さまとお釈迦様のお誕生日を共にお祝いいたしました。

ぜひ、来年も「別院花まつり」にご参拝ください。

# 訃報

3月30日(土)、真宗大谷派鍵役の大谷修氏(法名・信明院釋闡廣)が逝去されました。享年98歳。4月10日に山科別院にて葬儀(宗派葬)が執り行われました。長年、報恩講をはじめ、桑名別院での法要に御参修をいただきました。

本年度50周年を迎える三重教区の「九華雅楽会」とは、結成当初からの間柄で深い親交関係でありました。

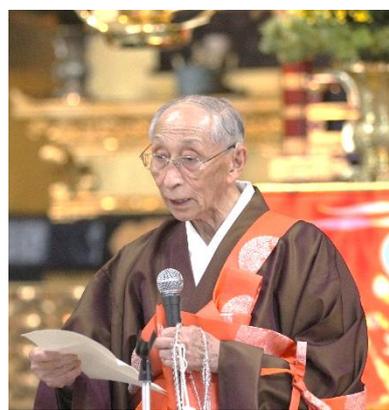


「三重教区 宗祖親鸞聖人御誕生800年・立教開宗750年慶讃法要」【1978(昭和53)年4月6日~9日】

桑名別院婦人会の方からは、上山した際、信明院殿直々に挨拶に歩み寄りいただいたという思いも伺っております。三重教区をご高配くださり、桑名別院への御参修を心より楽しみにしておられたそうです。

9日の通夜、10日の葬儀をはじめ、弔問期間には三重教区内の親交のあった多くの方々が参列いたしました。

ご生前のご厚情を偲び、謹んで哀悼の意を表します。



「桑名別院 報恩講」本山鍵役御参修 【2018(平成30年)年12月22日、23日】





# 5月の行事予定



## 法話（又は講演）のご案内

## 法要（お勤め）のご案内

◇ 人生講座 会費 500 円  
 5月12日（日） 午前7時～8時  
 講師 **花山 孝介氏**  
 （東員町 遍崇寺 住職）



※毎月第一日曜日開講。

6月2日（日）、講師 西寺 浄帆氏（伊勢市 本覺寺 坊守）

◇ 同朋の会【正信偈のことばにふれる③】  
 5月10日（金）午後1時～3時 会費 500 円  
 講師 **長澤 隆司**  
 （桑名別院 輪番）



※毎月第一金曜日開講。

※ 次回 6月7日（金）午後1時～3時

◇ 桑名別院法話のつどい  
 5月13日（月） 午後1時～3時  
 講師 **原田 浩憲氏**  
 （津市 託縁寺 衆徒）



◇ 桑名別院法話のつどい  
 5月28日（火） 午後1時～3時  
 講師 **藤井 晃世氏**  
 （三重教区 駐在教導）



◇ 晨朝法話  
 毎朝 午前7時 法話 別院列座  
 （13日、28日の御命日は輪番）

◇ 晨朝（おあさじ） 毎日午前7時～

◇ 祥月経 毎日午前9時～  
 （13、28日は午後1時～）

また今月12日、26日、31日は所用により前日に兼ねます。

他の時間に祥月経をご希望の方、または年忌等、各種お参りをご希望の方は寺務所までお問い合わせください。

◇ お夕事 毎日午後4時～

◇ 御命日のお参り

先門首 13日 / 親鸞聖人 28日

前 日：午後1時より速夜

御命日：午前7時より晨朝、午前9時より日中

◇ 御歴代御正当

5月22日（水） 常如上人 第15代

前 日：午後4時より速夜

御命日：午前7時より晨朝 兼 日中

### 「令和6年能登半島地震」への支援について（御礼）

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」から4ヶ月が経ちます。桑名別院では地震の発生後より境内や寺務所受付に救援金箱を設置してまいりました。以下の金額が集まりましたこと、中間報告いたします。

415,042円（2024年4月22日時点）

ご協力を賜りました皆様方に厚く御礼を申し上げます。以上の金額は三重教務所を通じて本山より現地の救援活動にご活用いただきます。今後もご協力お願いいたします。

### 寺務所の休止について

誠に勝手ながら、職員研修のため、

5月30日、31日は寺務所が休止となります。

## お知らせ

### ◆ 桑名別院 事務員（アルバイト）の募集について

- ・募集人員 … 女性事務員（アルバイト）1名
- ・業務内容 … 事務補助（電話対応、簡単なパソコン入力作業ほか）軽作業など  
※事務未経験の方でも丁寧に指導いたします。
- ・勤務日 … 週3日 ※土曜、日曜、祝日は休み。  
ただし、別院行事の日は勤務となることがあります。
- ・勤務時間 … 午前10時から午後3時30分まで（昼休み：1時間あり）
- ・時 給 … 1,000円
- ・その他 … 交通費、昼食の支給あり
- ・資 格 … 普通自動車免許

ご応募・お問い合わせについては桑名別院までご連絡ください

### 今後の行事案内

#### ◆ 真宗公開講座 6月8日（土）

時 間：午後2時00分～午後4時00分  
 会 場：農業屋コミュニティ文化センター（松阪市）  
 講 師：藤場俊基氏（金沢教区常設寺住職）

#### ◆ 暁天講座 7月14日（日）～18日（木）

時 間：午前6時20分～午前7時30分  
 会 場：桑名別院

真宗大谷派（東本願寺）

# 桑名別院 本統寺

〒511-0073 三重県桑名市北寺町47番地

寺務所 平日 9:00～17:00

TEL (0594)-22-0652 FAX (0594)-22-0681

メール kuwanabetsuin@gmail.com

